

平成26年度 天王寺区役所予算概要について

予算額合計 250,725 千円 (25年度 216,126千円 前年度比 34,599千円)

(単位:千円)

事業名	事業費	事業概要
「みんなの『思い』が区政に反映されているまち」に向けて 「区民の声」集約プロセスの強化 19,240 千円 (25年度 14,272千円 前年度比 4,968千円)		
区政会議運営事業	599	・区民が区政における様々な課題について意見を述べ、区政に関する評価を行う「区政会議」の運営を行う。
広聴・広報・情報発信の充実事業	18,641	・天王寺区広報紙について、「区民に親しまれ、読んでもらえる広報紙」とするべく、デザインを刷新するとともに、ページ数や記事内容の拡充を図り発行する。 ・区内の施策・事業を区長が自らの権限と責任で実施する区政運営を実現させるために、区民モニターを区政評価員として位置づけ、区の事務事業の評価を行うとともに、サイレント・マジョリティなどの表面化しにくい意見やニーズを、区職員から構成される区民の声集約チーム～あなたの声をつなげ隊～が個別対話により、直接意見聴取し、把握する。
「未来を担う人材が育成されているまち ～日本一の文教『都市』の実現～」に向けて 日本一の文教『都市』をめざした人材教育の取組 など 26,776 千円 (25年度 11,393千円 前年度比 15,383千円)		
未来の“てんのうじ”を担う社会起業家育成事業	3,820	・子ども、子育て世代の割合が他区に比べて高い天王寺区において、子どもたちの将来に向けた挑戦の一助とするため、インターンシップ事業・社会教育プログラム事業を実施する。
英語による即興型ディベートスクール事業	4,200	・子どもたちを対象に、将来、英語による様々なコミュニケーションの場面に対応できる、グローバル社会で生きていく力を養うため、英語による「読む・聴く・話す・書く」の4つの能力の育成はもとより、「書く」スキル、「話す」スキルの大前提となるロジカルシンキング(論理的思考)の習得や、外国の文化等についても理解・尊重できる能力を育成することで、未来を担う人材を輩出する。
天王寺区子育てスタート応援事業	7,561	・平成26年4月1日以降に誕生し、天王寺区に住民票を有する3か月健診受診者を持つ家庭を対象に「子育てスタート応援券」を配付することで、乳幼児期から子どもの体験、教育等の機会を提供するとともに、養育者の子育ての負担感や不安感を軽減するため様々な子育て支援政策の情報提供の充実を図ることにより、こどもの将来のための重点投資を促すきっかけづくりとする。
天王寺区子育てナビゲーション・NET事業	3,440	・スマートフォンやパソコンなどを使って、子育てに必要な情報を、子育てに忙しい養育者を対象に、いつでもどこでも手軽に知ることができる利用者の立場に立った子育て情報を提供するとともに、整備したデータを原則二次利用可能なライセンスで公開し、オープンデータ化に対応することで、民間からのさらなるアイデアによる新サービスの創出を図る。
天王寺区子育て情報博覧会事業	240	・子育て世代が子育て支援施設やサービス内容を十分に理解し、施設やサービス利用が図れるよう促進するため、直接に各種子育て支援機関が取組内容を子育て世代に伝える場を提供する。 ・子育てに関する専門家の話を聞くワークショップを開き、参加者同士の交流機会を提供する。
天王寺区版子育てナビゲーション事業	593	・子育て世帯が子育てに関する不安や悩みを解消し安心して子育てができるように、個々の相談者にそった子育てに関するきめ細かな相談支援及び様々な子育て情報の提供を行うことにより、子育て世帯の育児不安、子育て負担の軽減を図る。
乳幼児発達相談体制強化事業	2,806	・発達障がいのある子どもと養育者が、速やかに診断や医療につながる相談を受けることができ、早期の療育や適切な保育・教育等につながるまで専門的な支援のもと安心して育児ができるよう、区保健福祉センターにおいて臨床心理士等専門職を長期的・安定的に確保し、早期の段階で継続的な相談支援を実施する体制を構築する。
発達障がいサポート事業	3,024	・地域により身近な存在である各区役所が、児童・生徒、保護者等個々の状況に応じて、各区のマネージメントにより地域の有能な人材を活用し、小中学校に在籍する発達障がいのある児童生徒の生活上の行動面に対して、ソーシャルスキルを含む社会性や対人関係の構築への適応に向け適切なサポートを行う。
子育て愛あいフェスティバル事業	264	・区内にある子育て支援に関係する機関、団体、子育てサークルが集まり、就学前の児童とその保護者を対象に、専門相談をはじめ、親と子のふれあい、子育て中の親同士並びに地域の子育てボランティアとの多世代の交流の輪を広げ、地域のみんなで支えあう子育て環境を充実するために、親子参加型の交流の場を提供する。
青少年健全育成事業	828	・新成人を迎える方に対して成年の日記念イベントを開催する。 ・次世代を担う青少年の多世代間交流及びボランティア活動に取り組むことにより、地域の一人としての自覚や仲間づくり、「やさしく思いやりのある青少年の健全育成」とともに「次世代の地域活動の活性化」を目指す。
「命を守る政策」がしっかりと進められているまちに向けて お年寄り一人ひとりの命を守りぬく地域福祉 など 9,009 千円 (25年度 8,056千円 前年度比 953千円)		
血管年齢 知って行動 健康づくり事業	259	・自身の健康について、関心を持ってもらうきっかけづくりとして、区役所で行う保健師による常設相談会や区内のイベント等を活用し、血管年齢を測る事業を行う。それにより、自身の健康状態の目安を知り、生活習慣の見直しや、生活習慣病予防への啓発を行い、自身の健康保持・健康増進を図る。
独居高齢者等見守りサポーター事業	7,958	・地域資源や福祉・介護サービスからの孤立、虐待などの問題の深刻化や発見の遅れといった課題の解消をめざし、独居高齢者等の世帯を定期的に訪問し当該世帯の抱える課題について早期に外部支援者が把握できる状況をつくり、必要に応じて医療・介護サービスにつなげるなど、支援者による課題への早期かつ効果的な対応につなげ、安心して在宅生活を送れるよう支援する。
天王寺区愛あいふれあいまつり事業	320	・平成26年度に第9回天王寺愛あいふれあいまつりを開催する。当事業は、平成18年度から天王寺区地域福祉アクションプランにもとづき、福祉の情報発信、高齢者や障がいのある方への理解と新たな気づきを促し、社会参加や多世代交流を目的に、多くの区内各種団体、ボランティアグループ、障がい者施設などの事業所、官公署で実行委員会を組織し企画・開催する。
区地域福祉アクションプラン推進支援事業	97	・平成18年度から、身近な地域の実情にあった福祉の推進のため、地域の方々と区役所、区社会福祉協議会が協働して取り組む「天王寺区地域福祉アクションプラン(3年を1期)」が策定された。平成24年度から第3期計画に基づき地域福祉推進の取り組みを進めており、平成26年度は第3期の最終年にあたる。計画推進の母体である天王寺区地域福祉アクションプラン推進委員会及び高齢班、障がい班、子育て班の活動を支援する。
高齢者福祉月間事業	17	・市民が高齢者福祉についての関心と理解を深めるとともに、高齢者自身の社会参加意欲を高めることを目的に、毎月9月を高齢者福祉月間と定め実施。
健康展	110	・区民の健康意識の高揚と健康づくりへの取組みを推進するため、地域の医師会、歯科医師会、薬剤師会及び関係団体と連携・協働して、健康展を開催し、区民の健康保持及び増進を図る。
がん検診事業	248	・がん検診の受診率の向上及びがんの発症率の高い壮年期の区民への受診を勧奨する。(区広報紙特別保存版)

事業名	事業費	事業概要
より多くの人に「災害対策リテラシー」を向上する事業の追求 など 9,715 千円 (25年度 19,725千円 前年度比 ▲10,010千円)		
遊びながら防災を学ぼう～あそぼうさいin四天王寺	1,845	・自衛隊・消防署・企業・NPOなど多様な災害対策アクター(主体)等と連携し、多くの区民が見てみたい、体験してみたいと思えるような取り組みを実施することにより、防災に対する興味・関心を高め、自助・共助の取組みを促進する。
天王寺区家具転倒防止器具取付事業	2,178	・自身で家具転倒防止器具を取り付けることが困難な高齢者世帯、障がい者世帯、ひとり親世帯を対象に、専門事業者による家具転倒防止器具の取付けを行い、地震発生時、家具の転倒による被害を最小限にとどめる。また、本取組みを通じて、他の自助の取組みを促すことをめざす。
収容避難所整備事業	2,580	・地域の意見も反映しながら、安全・安心なまちづくりに資することを目指し、大規模災害発生に備えて必要な備蓄物資の充実を図る。 ・備蓄物資を保管するスペースを提供してくれるマンション等集合住宅に、救助資機材等災害用物資を配備し、マンション等集合住宅の住民及び周辺住民が災害時に活用できるようにするとともに、配備をきっかけに自助・共助の取組みを促進し、地域の防災力の向上を図る。
地域における自助・共助力の向上支援事業	1,957	・参加体験型の講座、イベントや集客施設における即席講座を開催し区民の災害対策リテラシーを高め、非常持ち出し品の準備や家具転倒防止対策など自助の取組みの促進を図る。 ・地域防災リーダーを中心とした地域住民による防災マップの作成を通じて、地域住民が日常的なつながりを深めながら地域の災害関連情報の共有や地域の防災課題・対策を考える機会とする。
防災訓練事業	1,155	・災害時に的確な応急対策にあたるよう、連携の強化を図るとともに、職員の防災意識並びに広く市民の防災意識の高揚に寄与することを目的として、区災害対策本部、住民(赤十字奉仕団、地域防災リーダーなど)、防災関係機関が協力して防災訓練を実施する。
子どもの防犯等 安全・安心のまちづくり など 10,002 千円 (25年度 9,582千円 前年度比 420千円)		
こども安全指導員事業	3,290	・専門性を備えた「子ども安全指導員」を新たに配置し、子どもの安全防犯パトロール活動の充実・強化を図ることにより、子どもの安全安心確保を推進する。
こどもの防犯に向けたまちづくり事業	1,656	・安全安心な天王寺区の実現に向け、こども被害などの犯罪を減らすための「こども安全見守り防犯カメラ」の設置・運用を行うほか、こども防犯の啓発及び防犯教室を開催する。
犯罪のない安全なまちづくり事業	244	・安全安心な天王寺区の実現に向け、区民全体の防犯意識を高めるために、自転車盗など街頭犯罪や振り込め詐欺への注意喚起などの防犯キャンペーンを実施する。
自転車利用適正化事業「Do!プラン」	3,857	・区内鉄道駅周辺の放置自転車や歩道上の危険な自転車走行などの地域課題の解決に向け、社会的ビジネス化の手法等を用いて地域と協働で放置自転車対策など道路の適正利用に取り組むほか、自転車利用のマナーアップに向け小学生に自転車免許講習会を実施する。
交通安全啓発事業	294	・交通事故のない安全なまちをめざして交通安全知識の普及と安全意識の高揚をはかるため、区民参加のもとで街頭啓発などを展開する。
地域安全パトロール事業	661	・区民や地域の団体等と連携を図りながら、子どもの見守りなどパトロール活動を通じて地域安全防犯の向上に取り組むほか、地域ニーズや地域の特性により生じる課題解決に向けて区民と協働して安全安心なまちづくりに取り組む。
歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまちに向けて 戦略的なシティ・プロモーションの推進 9,961 千円 (25年度 10,907千円 前年度比 ▲946千円)		
天王寺 真田幸村博の開催	5,200	・天王寺区の歴史・文化等の観光的魅力を広く発信し、天王寺区への誘客及び地域の賑わい創出を図るため、平成26年度、27年度に、区民・民間企業等との連携のもと「天王寺 真田幸村博」を開催する。 ・平成26年度は、5月にプレイベント、11月にコアイベントを開催するほか、年間を通じて各種サブイベント等を開催する。
グローバルビジネスプランコンテスト	1,924	天王寺区内での起業を促進するとともに、将来起業を志す優れた人材を育成するため、グローバルビジネス・プランコンテストを実施し、優れたビジネスプランについては、大阪産業創造館等と連携して、起業支援や販路開拓など各種経営助言・サポートする。
JR天王寺駅北エリアのまちづくりデザインコンペの実施	510	・大阪の南の玄関口であるJR天王寺駅北口及び周辺地区の地域ビジョンの確立に向け、25年度の調査検討をもとにデザインコンペを実施し、実現性のある地域活性化策を検討する。
天王寺区魅力発信・にぎわいづくり事業	2,327	・天王寺区の歴史・文化の魅力を知ってもらうとともに、地域の賑わい創出を図るため、各種イベント(天王寺蕪取獲祭、てんのうじ吹奏楽フェスティバル、お寺のまちdeキャンドルナイト)等を実施する。
市政改革プランに基づく「大きな公共を担う活力ある地域社会づくり」 44,891 千円 (25年度 31,295千円 前年度比 13,596千円)		
地域活動協議会への財政的支援	17,437	・開かれた組織運営と会計の透明性を確保しながら地域課題に取り組む、自律的な地域運営の仕組みである地域活動協議会の運営を支援するため、活動内容に応じて助成(補助)等を行う。
地域重要課題担い手発掘事業	782	・防災や防犯、地域福祉、人材育成等、さまざまな地域課題の解決に資する実現可能性の高い企画や取り組みを広く募集し、専門家による委員会において最も優れた企画・取り組みを選定し、本市事業として委託することにより、地域課題の解決を図る。
花とみどりのまちづくり事業	900	・緑化講習会や種花事業等を通じて花とみどりのまちづくりに関心を持ってもらい、花とみどりの普及啓発並びに緑化推進に努めることにより、わがまち意識の高揚と一層の地域コミュニティづくりを推進する。
コミュニティ育成事業	7,761	・市民交流やコミュニティづくりを促進し、区民文化の向上と地域の活性化を図るため、区民まつりや区民文化のつどいなど、各種団体等と協働して、コミュニティの育成に資する事業やイベントを行う。
区における人権啓発推進事業	65	・広く区民の人権意識の高揚を図っていく。
学校体育施設開放事業	2,151	・市立の小・中学校の体育施設を、学校教育に支障のない範囲で地域に開放し、地域住民に継続的にスポーツ活動の場や機会を提供するとともに、地域住民による自主的、主体的な運営や活動の推進を図ることにより、もって住民の健康・体力の維持増進、生涯スポーツの振興、生活の質の向上に寄与する。
「天王寺区生涯学習推進計画」推進事業	1,230	・区民一人ひとりが自主的、主体的に行った学習活動をさらに積極的に展開し、その学習成果を社会へ広げ、よりよい社会への変革の担い手として行政とともに行動していく人権尊重の生涯学習社会を目指す。
新たな地域コミュニティ支援事業	14,565	・さまざまな市民活動団体が幅広く参画し、開かれた組織運営と会計の透明化を確保しながら、地域課題に取り組む地域活動協議会等地域団体を積極的に支援し、新たな担い手の拡充・育成やネットワークづくりへの助言・指導を行う観点から、多様な機能や特性を持った中間支援組織を運用する。
○施設の管理運営、事務経費等 121,131 千円 (25年度 110,896千円 前年度比 10,235千円)		
区庁舎設備維持費	48,990	・区役所における庁舎設備の維持管理を円滑に執行する。 ○光熱水費を削減する中で適切に温度管理を実施 ○設備の保守 ○清掃の徹底 ○必要最低限の修繕等
区役所附設会館管理運営経費	32,478	・市民のコミュニティ活動の拠点として利用率の向上を目指すとともに、費用対効果の向上を図るために指定管理者制度を導入し、一部業務を区役所が執行することで経費を削減する。
生活保護担当職員のパソコン運用経費	143	・平成22年度に生活保護業務担当に設置した庁内情報端末の安定的な運用を図る。
天王寺区庁舎管理及び運営経費	35,280	・区役所における事務をスムーズに執行する。 ○区役所一般事務 ○非常勤嘱託職員(宿日直業務) ○住民登録担当諸事務 ○住居表示諸事務 ○自動車臨時運行許可事務にかかる番号標経費(実費弁償)
市民サービス向上に向けた保健福祉センターの窓口整備事業	4,240	・子育て支援室と健康推進担当との連携強化を図るとともに、来庁者スペースの拡大による窓口整備により待ち時間を短縮、福祉・健康等の情報発信スペースを整備するなど区民の利便性と快適度の向上を図る。